



vol.64

2016年  
11月30日  
発行

日本山岳会

# 「高尾の森」通信



—小下沢風景林の森づくり活動—

会員数:204名  
(2016.10.31現在)



アオサギ（蒼鷺）が板当のフィールドで孤高の様相で生息している。

全長88-98cm。翼開張150-170cm。体重1.2-1.8kg。

上面は青みがかった灰色の羽毛で被われ、和名の由来（漢字表記の蒼はくすんだ青色のことも指し、中国語名と同一）になっている。

種小名cinereaは「灰色の」の意で、英名（grey）と同義。

淡灰色の長い羽毛（飾羽）が混じる。



## 小下沢 NOTE 秋

### 9月定例作業

9月の定例作業は新人も加わり、好天の中、気持ちよく間伐が進みました。板当の作業も慣れてきましたが今後の中腹より下の部分の作業が課題となっています。



C班板当  
間伐の復習  
受け口に枝を置いて  
水平と角度を意識。



A班狐塚峠目指して



今年は天候不順で高尾の森にも台風が幾度となく襲い、写真のように丸太橋が被害にあっています。有志の協力で橋は皆さんがいつでも気持ちよく渡れるようメンテナンスをしています。



9月の晴天の日には定例となった「清新小学校」のテント干しを行いました。イベント自体は途中で中止となりましたが又、来年も子供たちの歓声が聞けるのを楽しみに作業を行いました。



### 10月定例作業

10月は雨天となり作業自体は各班中止となりましたが山見や次回作業の段取りのため厳しい雨にも負けず昼過ぎまでベースに戻らない班もありました。



C班 旧営林小屋近くで。みなさん、雨対策の装いも様々ですね～



たすけあい

斧でいきます

11月定例作業



帰り道、景色を見ながら。



無事戻りました



切れる刃は楽し  
怪我も少ないヨ



11月の作業は前日の雨が上がり  
よい天候になりました。各班、板  
当の作業場へ向かい順調に間伐を  
行いました。ベースに戻るとおい  
しいキノコ汁をキッチン班が準備  
してくれていました。  
定例後に高尾駅周辺まで我慢でき  
ず、「するはしの豆腐や」で宴会  
を楽しむ会員もいました。



## もくじ

小下沢NOTE .....	02
高尾の会のこれから .....	04
幹事会報告 .....	05
高尾の森に生息する 哺乳類について .....	06
法人会員紹介 .....	08
森の研修会 .....	09
プロジェクト報告 .....	10
美林見学 .....	11
事務局からのお知らせ .....	12



# 高尾の森づくりの会のこれから

吉川 正幸

私は桜が好きで、春になると花見の宴を長いあいだ続けています。と言っても、公園に朝早くに行ってシート陣取りをするだけで、そこに知人来てもらうだけです。温かい春の日差しの下で、静かに散る花を眺めることもありますし、雪の中でテントを張って、凍えながらお酒を飲んだこともありました。

いつも花見酒が醒めた後で考えるのですが、私達が日本の伝統である花見を続けられるのには、4つの理由があります。桜花の咲きよう、散りようを見ながら自然の美しさに単純に美しいと思う心が一番目です。次に、それを仲間と飲食をしながら語り合いあう楽しさがあります。時には言い争いになるときもありますが、また、毎年、健康で花見で友に再会できたことを喜びます。そして、桜を改良し、植えてくれた祖父母や父母の代からの努力があったからこそ、私達が今日の花見を楽しめるのです。

唐突にお花見の話を出しましたが、高尾の森づくりの会が楽しく長く続くためには、これらの要素が必要であると思います。

①私達が、山の木の手入れをするのは、次世代に豊かな自然を残したいからだと思います。子孫や他人のために体と頭を使うのは最高の贅沢です。でもそれだけではありません。まず、②参加する自分自身が、その活動を楽しむことが肝要です。また、③仲間で助けあい、時にはけなし合い、切磋琢磨し自分を高めることも楽しみの源泉でしょう。

右の表は、事務局長の松川さんが作成してくれました。私を含めた会員の年齢構成を見ると恐ろしいことが分かります。会の平均年齢は70歳を超えています。また、現会員構成では10年後はおろか、5年後には山の手入れを行う会員がいなくなると推定されます。

私達の会は、創立以来15年間にわたって順調に発展してきました。しかし、この表は、④私達が新会員を募集して次世代を養成しない限り、消滅してしまうことを示しています。また、⑤会員の健康管理にも気を配る必要があります。新しい仲間を増やすことが、この会にとっては差し迫った課題であります。

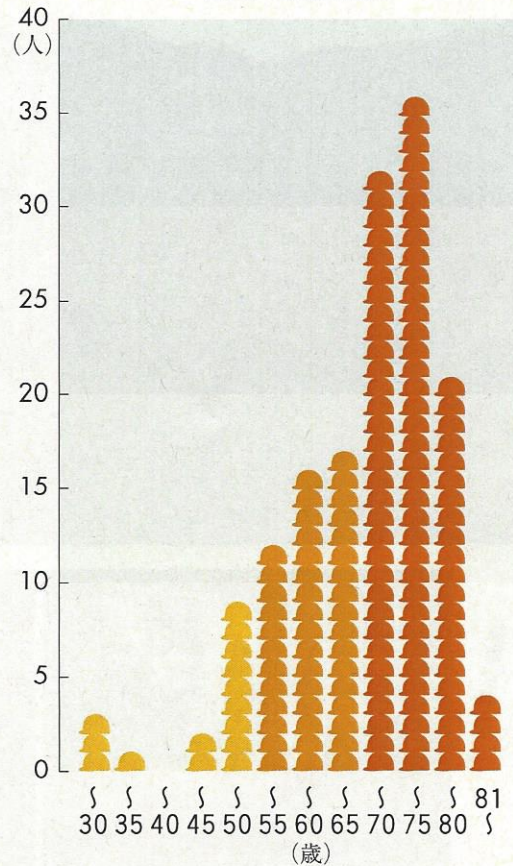
上記の文中で無粋にも番号を振りました。この①から⑤までが、とりも直さず、高尾の森づくりの会の課題であり、その解決がこれからの会の方向であると考えます。①森づくりの作業は、私達の会の基本であるだけに、しっかりと充実して行く必要があります。現在、会の仕事は海外にまで及んでいますが、現会員の力量(⑤の課題)から必要に応じて中止せざるを得ないところもでてくると思います。他方、②から⑤までの目的のために、新しい活動フィールドを探ることが必須と考えます。

①と⑤の課題は従来からの会の基本ですが、これからは、②自ら楽しむこと。③仲間と切磋琢磨し、少し勉強すること。④新会員獲得と次世代を養成すること。の3つを目的として、屋外と屋内の研修会や青少年の自然教室の開催などを会の新しい柱に位置づけてゆきたいと考えます。

難しいことを言ってしまいましたが、要は、楽しく、元気に、野外で活動して、勉強しながら新人(60歳以上でも可)を養成してゆきましょう。このために、皆さんと一緒に知恵を絞って、汗をかきたいと思います。

以上

会員の年齢構成





# 幹事会報告 <敬称略>

## 第一回

6月9日 18時12分～20時12分  
会場／富士電機能力開発センター会議室  
参加人数／幹事13名 監査役1名  
議長／吉川  
書記／小山

- 議事**
1. 幹事役割分担について（松川）  
5ヶ年計画について（馬場）
  2. 規約について（松川）……ホームページ参照
  3. その他  
定例作業、次回幹事会日程

## 第二回

7月4日 18時～20時30分  
会場／市ヶ谷会議室  
参加人数／幹事10名 監査役1名  
議長／吉川  
書記／小口

- 議事**
1. 218、219林班下見報告（大森・高橋・湯川・松隈）
  2. 幹事役割分担の変更（松川）
  3. 研修会計画案の説明（高橋）

- 報告事項**
1. 京王親子スクール（大森）
  2. 研修会予定（高橋・仁藤）
  3. 保険（松川）
  4. ミュージアム写真展示会（松川）

## 第三回

8月8日 18時30分～21時15分  
会場／立川市女性総合センター会議室  
参加人数／幹事12名 監査役2名  
議長／吉川  
書記／松川

- 議事**
1. 第4次 5ヶ年計画（馬場）
  2. 職務権限規定の改訂（松川）
  3. 来年度の育樹祭（馬場）
  4. 定例的作業／補助作業の見直し（馬場、白井、大森）
  5. 都有林情報（日比野）

- 報告事項**
1. 年間スケジュール（小山）

## 第四回

9月5日 18時30分～20時50分  
会場／立川市女性総合センター会議室  
参加人数／幹事11名 監査役2名  
議長／吉川  
書記／川久保

- 議事**
1. 会の課題と事業計画について（吉川）
  2. 権限規定（吉川）
  3. 旅費交通規定（吉川）

- 報告事項**
1. 作業班リーダー会議報告（8月30日開催）（馬場）
  2. 研修会報告（仁藤）

## 第五回

10月3日 18時35分～21時20分  
会場／立川市女性総合センター会議室  
参加人数／幹事12名 監査役2名  
議長／松川  
書記／湯川

- 議事**
1. 新5ヶ年計画（馬場）
  2. 新規プロジェクト「小下沢都有林プロジェクト」  
立ち上げ（日比野）

- 協議事項**
1. 作業班リーダーの幹事会出席の件（松川）
  2. 森林管理署訪問報告「ソーラー発電計画」（松川）

- 報告事項**
1. 三宅島プロジェクト下見報告（松川）
  2. 上半期会計報告（湯川）
  3. トランシーバー・救急セットの増強（川久保）

## 第六回

11月4日 18時35分～20時45分  
会場／市ヶ谷会議室  
参加人数／幹事11名 監査役1名  
オブザーバー（守永・小南）  
議長／吉川  
書記／小木曾

- 協議事項**
1. 都有林プロジェクト（日比野・川久保）
  2. 5ヶ年計画・作業指針（馬場）
  3. 署との立会い結果報告（馬場）
  4. 新プロジェクト発足評価表（松川）
  5. 安全管理体制（馬場）  
（板当緊急車両配備について）（小南）

- 報告事項**
1. 会員増計画（日比野）
  2. モニタリング調査報告（白井・大森）
  3. 紅葉観賞会・忘年会計画（川久保）



**高**尾の森で落葉広葉樹を植樹し多様で豊かな森づくりをはじめ16年目となりました。これまでに18,757本の植樹をし、針広混交林の森づくりをしてきました。

植樹当初から植樹苗の保育・成長調査してきましたが、このフィールドにどのような哺乳類が生息しているのか6年前（H22/8）に1台のカメラを設置し調査をはじめました。

設置場所は森林形態を、スギヒノキの人工林、人手の入らない自然林、高尾の森づくりの会で植樹した落葉広葉樹の林と3形態に分類し、各々の森林形態に現在2台ずつ設置し3年前から定点観測をしております。

また、アナグマの穴を色々な動物たちが利用していることが映像から分かりこの場所にも2台、ベース小屋付近2台と合計10台のカメラを設置して観察をしております。

これまでに会報でも何回か報告してきましたが、今までにカメラの映像で確認できました哺乳類は、18種です。また鳥類20数種や昆虫なども映像に現れます。

カメラの映像から動物たちの種類、生態、面白い行動などが確認できますが、今回は、シカとアナグマについて報告します。

#### 映像で確認された哺乳類

アナグマ、アライグマ、イノシシ、ウサギ、キツネ、サル、シカ、タヌキ、テン、アカ/ヒメ/クマネズミ、ハクビシン、リス、カモシカ、コウモリ、ノネコ、クマ

\*高尾山山系に生息する哺乳類はこのほかにモグラやヒミズ、コウモリ数種や有名なムササビ等29種が生息していると云われています。



## 高尾の森に生息する、

オスジカ4歳（2008年D班植樹地）



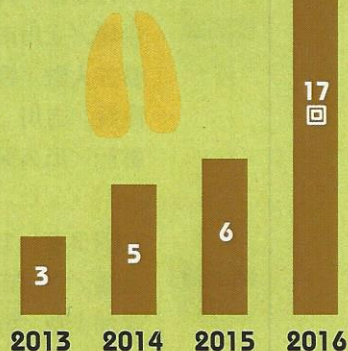
オスジカ1歳（2008年Aルート）



メスジカ2頭（初年度植樹地）



シカの出現回数



シカの糞（2008年C班植樹地）



角研ぎ（2008年A班植樹地）

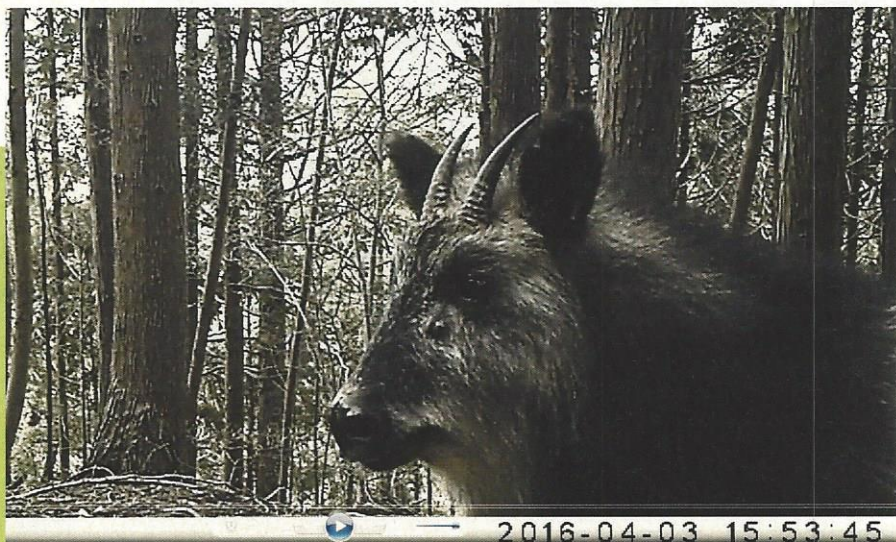


# 哺乳類について

## 1

シカについては、本格的に調査を始めた2013年から映像で確認されましたが増加傾向がハッキリしてきました。年間数回でしたが今年はもう17回と高尾の森に定住しているようです。映像から確認できるのはオスジカ（1～4歳以上）、メスジカ個体数で6～9頭が2008年植樹地～初年度で生息し、角研ぎの痕や糞が確認されています。今後とも注意深く観察をしていきたいと思ひます。

植樹苗の食害や山ビルなどが心配されます。痕跡が見られましたらカメラなどに記録しおしらせください。



カモシカはシカの仲間ではなく牛・ヤギの仲間  
この横顔はまさに牛ですね。

## 2

アナグマの巣穴には多くの動物たちが協同で棲んでいるようです。巣穴は何か所も開けられ、穴の延長は数十m以上になっているようです。諺に「同じ穴の貉」というのがあり、アナグマ（ムジナ）とタヌキが同じ穴に住んでいるのは知っていましたが、ハクビシン、やネズミ、キツネ、ウサギなども協同旧宅に棲んでいるようです。

巣穴に入るアナグマ



巣穴に入るタヌキの子

哺乳類調査班メンバーは、白井さん、横川さん、松川信子さん、山崎で調査活動を毎週木曜日に実施しています。4時間程度の山歩きをしながら四季折々の動植物の観察をしております。メンバー募集中です。興味のある方はご参加ください。





## 法人会員紹介

### 株式会社 アーバン

事業部長 渡辺 徹

当社は、高尾の森づくりの会の10周年記念パーティーを高尾山ビアマウントにおいて開催して下さったことがきっかけとなり、河西前会長から貴会が森づくりという素晴らしい社会貢献活動をしていることを説明して頂きました。高尾山界隈で仕事をしている当社としては、是非とも仲間に加えて貰いたいと考えて、それから間もなく、法人会員として入会させて頂きました。会員としての活動は、必ずしも十分ではありませんが、イベントの際に『高尾山名物三福団子』を提供して、参加者のお腹には喜んでもらっています。

高尾山は、一部を除けば植林された杉の木ばかりです。日本の里山のイメージは、「秋の夕日に照る山もみじ……」と童謡に唄われている通りですが、杉の木ばかりが目立つ高尾山周辺にはそのような光景は乏しくなっています。都会の人々が童謡にあるような光景を見て心を癒す地域を、「高尾の森づくりの会」の方々が作って下さることに心から敬意を表します。日本に支配された歴史を持つ韓国ですが、日本人が荒野や山に木を植えて国土を緑化することを教えてくれたことには感謝しているとの話を聞いたことがあります。

植林は国土のデザインをやり直す位の大事業で、自分達の生きる時代の遥か先の未来を

創造する事なのだと思います。高尾の森づくりの会の活動範囲は、今や三宅島、気仙沼、ラオスにまで広がっています。ボランティア活動でありながら、これほど広がりを見せている背後では、会員の皆様が時間的、経済的、肉体的犠牲を払って来られたのではないのでしょうか？ 天災などで苦しんでいる地域に森づくりをプレゼントすることは、そこで暮らしている人々に希望を与える営みであり、それを長年にわたって継続して来られた会員の皆様に心より敬意を表します。

ここで、当社の事業内容を簡単に紹介します。本部は八王子市千人町にあります。病院や老人ホームなどの給食部門、JRA 東京競馬場や立川競輪場などの飲食店部門、らーめん西海部門、高尾山周辺の飲食店部門、麺や団子などの食品製造部門、中国四川省成都と海南島で展開している海外部門を持っています。来年度からは、高尾駒木野庭園と夕やけ小やけふれあいの里の指定管理者に内定しています。事業所数は、国内60箇所、海外10箇所です。

皆様の活動範囲に近い所にある当社の店舗を案内させていただきますと、FuMotoYA（京王高尾線高尾山口駅イタリアン）、高尾山ビアマウント & キッチンむささび、権現茶屋（1号路の男坂と女坂の合流地点）、高尾駅南口のらーめん西海などがあります。来年には、高尾駅近くに大和ハウスが開発中の商業施設に『そばと精進料理』の店を計画しています。又、陣馬街道を陣馬高原に向かって進むと『夕やけ小やけふれあいの里』がありまして、ここには格安の宿泊施設と手打ちそばの店があります。ホールもありまして、貴会の会議や宴会には使い勝手が良いと思います。

当社は、高尾山周辺で様々な形のサービス業をしていますので、皆様のお役に立てるのではないかと思います。

どうか、今後ともよろしくお願いします。





## 2016年度 機械作業資格研修

### 一般研修機関の講習に比べ、 実技中心の有意義な研修

仁藤正夫

高尾の森づくりの会では、ボランティア団体ですが、チェーンソー、刈払機作業については、林業事業等と同様に労働安全衛生法、同規則に基づく特別講習の受講を必須にしています。正しい知識と技能を身に着け、安全第一の森づくり活動を維持しています。

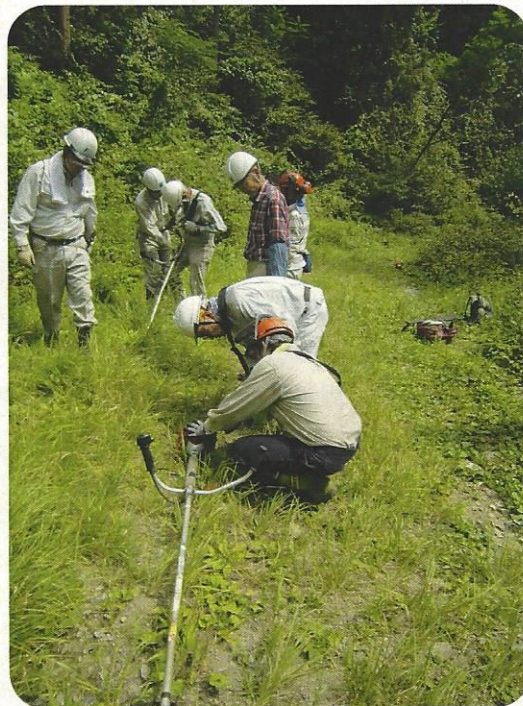
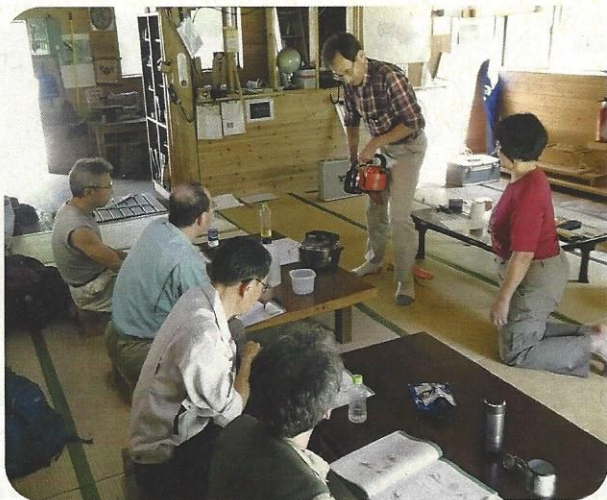
チェーンソー特別講習会を7月30、31日の2日間、ベース小屋で座学、景信登山道入口で実習を実施しました。受講者：斎藤（俊）、大塚、小野、斎藤（非会員）の4名が講師：松隈茂幹事（主任安全管理士）／

機械班より白沢、組沢、諏訪 寺田各会員の強力教授陣により少数精鋭英才講義を受講しました。受講生には、今後チェーンソー研修会に出席し、継続的研鑽と技能向上を期待します。

刈払機取扱特別講習会を9月3日の1日間で実施しました。ベース小屋で座学、浩宮御誕生記念碑前での実習を行いました。受講者は、守永、矢吹、青木、佐藤（元）、仁藤の5名。講師：松隈茂幹事と機械班より白沢、峰尾の強力教授陣による具体的作業方法、チップ刃飛び等の危険性を学びました。

今年は参加者が少なかったことが残念です。しかし、一般研修機関の講習に比べ、実技中心で大変密度の濃い有意義な講習になりました。なお本講習は、公的講習と同等です。

なお、会の方針として初心者だけでなく有資格者でも安全確保と技能向上の目的に、5年毎に特別講習会の再受講をお願いします。来年も同時期に開催しますので、是非今からスケジュールの確保をお願いします。







## 第12回 気仙沼大島森林 再生プロジェクトの 最終回にあたり

リーダー 小木曾裕子

東日本大震災で日本有数の水揚げ量を誇る気仙沼港は、津波で流された油タンクに火がついて一面炎に包まれ、その炎が大島最大の観光スポット亀山を直撃した。“私達の得意な作業で観光復興の支援をしたい”との思いから気仙沼大島森林再生プロジェクトが会として立ち上がった。活動を始めた平成24年は年4回、翌年からは年2回実施し、12回目を迎える今年の11月で5か年計画に区切りをつけることにした。

気仙沼市からは、亀山斜面の危険木の処理や龍舞崎等の遊歩道の整備、大椿周辺の整備など、観光復興の支援となる様々な作業の依頼が毎回舞い込んできた。中でも印象に残ったのは、震災前は白砂青松で風光明媚な小田の浜での作業。津波の塩害で立ち枯れて危険な状態にあ

った約250本の松を伐倒するという依頼で、高尾のメンバーの底力が存分に発揮された。

亀山では、焦げた松の伐倒処理に注力してきたが、3年目頃から弱った松が松喰い虫の被害にあい、危険な状態にある枯損木が目立つようになった。大島に訪れる度に次々と松の大木が立ち枯れていき、毎回伐倒処理しても切りがない。伐倒して開けた斜面には観光協会が推進している「みらいの桜プロジェクト」により桜の植樹が進められ、桜の名所の復活を目指している。

最後に、本プロジェクトの初代リーダーの萬國谷さん、三宅島から毎回駆けつけてくださった佐久間さん、736人に上るのべ参加者の皆さんに感謝するとともに、今後は桜が咲くころに皆で亀山を観光で訪れたいと思っている。

## 第17回 三宅島緑化再生活動を終えて 石井倫行

第17回三宅島緑化再生活動は、10月28日(金)～29日(土)に植樹、林道整備、下草刈りなどを行いました。参加者はいつもより少なく精鋭7名で、プロジェクトリーダーが都合で参加できず、どうなるかと当初は不安でしたが、島民ボランティアの支援もあって、計画した作業を首尾よく進めることが出来ました。

28日の朝のミーティングには、飯田副村長から挨拶を頂きました。その後、レストハウス跡地下に移動し、役場の宮崎氏が作業に加わり、総員8名でタブ、サツキ、ツバキ300本の植樹を行いました。続いて、坪田古道(570m)の整備は、刈り払い機2台で上から4名、下から4名に別れて作業を行いました。

29日は「甕の穴」の底部、周辺路、登下路の下草などの刈りこみを、刈り払い機5台、作業員15名で行い、午後からは、甕の穴の斜面の段々畑跡の草を刈り、展望台から公務員宿舍まで、赤道の整備も行いました。

今回、三宅島に行く前に、日本最大の椎の木(幹回り19.27m、樹齢500年)が見つかったニュースがあり、坪田古道から見に行く路の開鑿も今後の課題になりました。そして7月に完成したジオスポット富賀浜、そこから見た景色は絵葉書のようなものでした。

最後になりましたが、乗船券の手配、打ち上げ、会計などの役割を皆が分担し、第17回三宅島の作業を無事終えることが出来ました。ここに関係各位に謝意を表します。





## 第12回 美林見学会

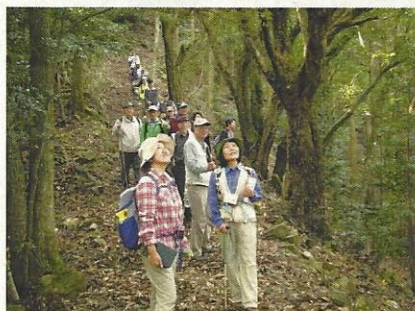
MIYAZAKI

TAKAO

照葉樹林ガイドは、『水源の森づくりを進める市民の会』（代表前原満之氏）、『てる葉の森の会』（代表河野耕三氏）に務めて戴いた。



大きなイチイガシ(ブナ科)の前で勢揃い。



## 日本一広い照葉樹林 九州中央山地国定公園

川久保芳男

第12回美林見学会は、平成28年11月7日から9日の3日間、当会員の精鋭14名が参加しました。(平均年齢71.3歳)。

場所は、九州宮崎県綾町で宮崎市から西へ約20km、綾南川の流域に広がる九州中央山地国定公園内です。面積は、約1800ha、照葉樹林では、日本一の広さです。

7日、宮崎空港から3台の車で移動、宿泊の綾北川沿い自然休養村センター綾川荘へ。途中今回の参加者の落合さん宅でお茶をご馳走になり、『水源の森づくりを進める市民の会』の作業場所見学。夕食時に宮崎産の本格焼酎で乾杯！

8日、午前中2時間、照葉樹林展望コース2.2km高低差229mを下る、その歩道沿いの樹木は、コジイ、タブ、ツクバネガシ、ユズリハ、イヌシデ、など種類が多い。森に入るための橋は、長さ250m、高さ142m(高所恐怖症者は無理)を渡る。ガイドの説明によると、照葉樹林は、東アジアに分布、かつてわが国の西側に広く覆っていたが、稲作に適している土地の伐採が行われ照葉樹林が失われた。綾の照葉樹林は原生林でない。なんども伐採の手が入っています。しかし、1967年当時の町長が国有林の伐採反対をきっかけで、照葉樹林の伐採中止となった。午後4時間、綾の川中自然を散策した。

樹種イチイガシ(ブナ科)、樹齢約350年、樹高40m、直径5.4m。その付近に巨樹がある。しかし、直径20cm以下の照葉樹は無い。それは、若い照葉樹の芽を鹿が食べるためとの事。九州には、オオカミや熊が今いない。鹿がヒルを運ぶために我々に犠牲者が出ました。宿は、日南のANAホテル。程よい疲れで乾杯！

9日、観光地の青島、鶴戸神宮、飢肥(おび)城と町並み散策。参加メンバー・天気等に恵まれ、有意義で楽しい美林見学会でした。

### 【ツチアケビ】

(別名：ヤマノカミノシャクジョウ)

和名は果実の色がアケビに似ていることからの名。

山の神の錫杖とは

修験者が持ち歩く杖に見立てたのでしょうか。

こんな出会いも楽しいものです。

三宅島でも初夏に見ることができました。

横川信由

ツチアケビ  
土木通





# 事務局からのお知らせ

## 主な作業・行事記録

9/3	刈払機研修会	8人
9/10	定例作業(除伐ほか)	67人
9/25	森の研修会	12人
10/8	定例作業	64人
10/21~23	三宅島緑化再生プロジェクト	のべ25人
10/22	チェーンソー研修会	8人
11/7	上柚木公園整備	6人
11/7~9	美林見学	のべ42人
11/12	定例作業	91人
11/18~20	気仙沼大島森林再生プロジェクト	のべ56人

## 今後の主な作業・行事スケジュール

11/26	紅葉鑑賞会
12/3	森の研修会
12/10	定例作業 忘年会
1/14	定例作業
1/29~2/3	ラオス展示林造成プロジェクト
2/11	定例作業

ようこそ

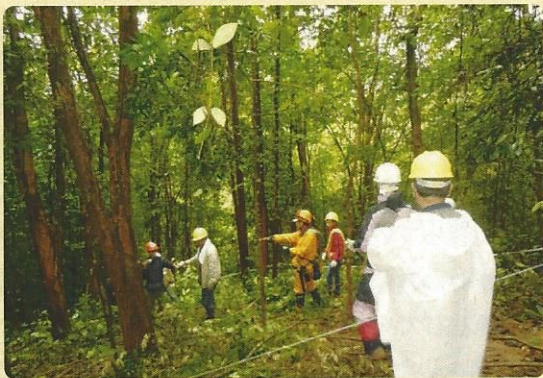
岡西宏之(おかにしひろゆき)さん  
(台東区:11月入会)

山仕事は初心者ですが  
よろしくお願ひ致します!



## 第3回 ラオス展示林造成プロジェクト・間伐ツアー

昨年に続き、ラオス大学と共同で熱帯雨緑林の間伐を行います。  
併せて大学生・村人に対し間伐設計、選木、チェーンソー伐木技術等の研修を実施します。



残存木の選木をしているラッタナ所長

- 日程/2017年1月29日(日)~2月3日(金)
- 場所/ラオス国ビエンチャン県バンビエン地区
- 集合解散場所/ビエンチャン・ワットタイ国際空港
- 費用概算/10万円(航空賃、滞在費、食事代を含む)
- 参加者公募/チェーンソーなど、指導のできる方を募集しています。

12月10日  
までに  
お申し込み  
ください

龍 久仁人  
ryu-kun@jcom.zaq.ne.jp  
携帯 090-4373-1555

## 高尾の森づくりの会

### 忘年会のおしらせ 1年間ありがとう~!!

日時 12月10日(定例作業日) 16時30分から19時  
会場 高尾駅南口高尾ビル2階(徒歩2分) お店2軒を貸切  
1. レストラン多花美(たかみ) TEL 0426-65-4387  
2. 天狗飯店(本場中華料理) TEL 042-661-1237  
会費 3500円/人

申し込み方法……作業班(ABCDF)リーダーへ  
ただし、F班の一部は事務局へ



- 各班の会場(上記1,2の店)への振り分けは、参加人数確定後に行います。
- 17時30分から会場(上記1,2の店)の行き来可能
- 飲み放題(飲み物限定)、酒類の持ち込み歓迎
- 忘年会の取り纏め及び進行係は、作業班リーダーと事務局の小山・川久保です。

キッチン班より  
お願い

定例作業日には

Myカップ Myはし(フォーク)  
お忘れなく!

## 編集後記

今回から会報誌編集企画担当になりました「小山」です。編集企画グループは小木曾さん、日比野さんが継続して携わっていただけますが今回、実際に編集作業を行うと段取り等が不慣れで皆さんに急な対応をお願いしたり、ご迷惑をかけながらの会報発行となってしまいました。今後も「見える化」を継続して推進し、多種多様なご意見をいただけたらと思っています。

